

## 平成 27 年度 社会教育事業の実績

### I いのちの教育の基礎となる家庭教育と乳幼児期の教育を支援する

#### 1 家庭教育支援の充実

##### (1) 家庭教育推進事業

子どもの「生きる力」につながる資質や能力を培う上で、重要な役割を担う家庭教育を充実させるために、家庭教育を支援する以下の施策を実施した。

##### ①家庭教育推進協議会の設置

ア 山形県家庭教育推進協議会（6月、2月の2回）

11名の委員を委嘱し、家庭教育の充実と家庭教育支援を推進する事業等の方策について検討した。

イ 県家庭教育アドバイザーの委嘱

30名の県家庭教育アドバイザーを委嘱し、教育事務所ごとに実施する家庭教育出前講座や「やまがた子育て講座」等の講師等を務めていただいた。

（村山 14 最上 5 置賜 5 庄内 6）新規 2 名

##### ②家庭教育電話相談「ふれあいほっとライン」の開設

家庭教育や子育てに不安や悩みを持つ親等からの相談に応じるため、電話等による相談を実施した。

- ・相談件数 299 件：1 月現在（昨年同期件 165 件）
- ・広報カード：新小中 1 年生と乳幼児健診分
- ・市町村広報紙掲載依頼：5・8 月（2 回）

##### ③やまがた子育て講座（国補助事業）

家庭教育に関する学習機会等の充実を図るために市町村と連携し、主に小学生を持つ親に対する家庭教育にかかわる学習機会を提供した。

今年度は、30 市町村 205 箇所を実施を予定しており（昨年：30 市町村 191 箇所）、講話だけでなく、グループワークや座談会等、参加者が主体となる講座の実施を推進した。

##### ④家庭教育出前講座（国補助事業）

多忙のため家庭教育の学習機会に参加できない親等に対応するため、講師が事業所等に出向いて、仕事と子育てや家庭教育の大切さなどについての講座を行い、理解と認識を深めた。（10 箇所：村山 2 最上 2 置賜 3 庄内 3）

##### ⑤家庭教育支援フォーラム（国補助事業）

身近な地域における家庭教育支援体制の充実を図るために、家庭教育支援者の研修及び情報交換等を県内 4 地区で実施した。

村山：①10/15 ②2/5 最上：①9/5 ②10/22 置賜：①10/8 ○庄内：①9/9 ②10/29

## (2) 地域人材による家庭教育支援推進事業 (H26.27 開発予定)

(公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム事業:国庫公募型委託 10/10)

地域における新たな家庭教育支援を充実させるために、身近な地域の公民館に「地域相談室」を開設し、地域人材(シニア世代)による「家庭教育支援チーム」を組織して、不安や悩みをもつ親(主に学齢期の親)が気軽に相談できる仕組みづくりと支援が届きにくい家庭(親)へのアウトリーチ支援のための効果的な手法を開発する。

- (1) 委託団体: 天童市家庭教育相談事業実行委員会(天童市) 天童中部公民館等  
東根市家庭教育相談事業実行委員会(東根市) 神町公民館
- (2) 県の役割(プログラムの開発): ①県家庭教育支援検討会議 ②支援者研修
- (3) 市町村の役割(モデル事業の展開): ①運営委員会 ②「地域相談室」の開設
- (4) 「家庭教育支援の充実」の一メニューとしてリーフレットを作成・配付して周知

## 2 幼児共育の推進

### (1) 幼児共育推進事業

「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して幼児期の子どもを育む『幼児共育』を推進するために、以下の施策を実施した。

#### ①幼児共育普及推進会議の設置

ア 各地区幼児共育普及推進会議の開催(4地区・民間委員4名程度・各年2回)

幼稚園・保育所関係者等を委員に委嘱し、市町村が実施する「幼児共育ふれあい活動」の効果的な実施と幼児共育の普及推進等について検討した。

イ 幼児共育の普及・啓発

幼児共育ポスター及びリーフレットを県内幼稚園・保育所等に配布した。

#### ②幼児共育ふれあい広場(国補助事業)

三者の連携による親子のふれあいを大切にした様々な体験活動等を提供した。

今年度は、28市町村148箇所予定で実施を予定しており(昨年27市町村137箇所)、地域や自然とのかかわりを大切にした様々な親子の体験活動の実施を推進した。

## 3 読育の推進

### (1) 読育推進ネットワーク整備事業

子どもの健全な心身の発達を促し、本好きな子どもを育てるために、乳幼児期からの「絵本の読み聞かせ」の普及・啓発を図り、家庭における「読育(どくいく)」を推進するために、以下の施策を実施した。

#### ①読育推進ネットワーク研修会(4地区)乳

幼児期からの「絵本の読み聞かせ」を普及啓発するために、子供の読書活動の推進にかかわる関係者の研修及び情報交換等を県内4地区で実施した。

#### ②読育推進連携講座:「博物館での読み聞かせ会」の開催

子どもの豊かな心をはぐくむために、自然科学や歴史等と読み聞かせを組み合わせた魅力的な読み聞かせ講座を県立博物館・図書館と連携して実施した。

7/29 (水) 「化石のレプリカづくり」

【参加者数】：午前の部 (幼児対象) 20名 (子ども10、大人10)

午後の部 (小1~4年対象) 35名 (子ども22、大人13)

③「読育フェスティバル」の開催

・期日：平成27年11月28日 (土)

・場所：響ホール (庄内町)

・協力内容：各地区から「読み聞かせサークル」の出演 (実演及び展示等の協力)

化石のレプリカ作りと読み聞かせの出前

0~2歳児用の絵本の展示

**Ⅱ 子どもと大人の「まなび」や社会力を高めるかかわりの充実を図る**

**1 少年期の教育の充実**

**(1) 放課後子ども総合プラン推進事業**

放課後や学校外における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりと、地域の教育力の再生を図る趣旨で、文部科学省「放課後子供教室」と厚生労働省「放課後児童健全育成事業」が連携し「放課後子ども総合プラン」として推進を図った。

①県推進協議会の設置 (6月5日、2月19日開催予定の年2回実施)

13名の委員を委嘱し、県子育て推進部子育て支援課との連携を図りながら、県の推進方策や県事業の実施計画及びその評価、次年度事業の方向性等について協議。

②コーディネーター研修会 (学社融合フォーラム) の実施

○期日：9月11日 (県生涯学習センター) 参加者：103名

○講演：「子どもたちの豊かな学びのための教育環境づくり」

○講師：千葉敬愛短期大学 学長 明石要一 氏

○分科会：A 放課後や土曜日等の魅力的な学習プログラムについて

B 地域の団体の他の事業と連携した学校支援活動について

C 大学生や教員OBなどの地域住民による「学習支援」について

③指導者研修会の実施

		村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
第1回	期日	6月16日(火)	6月22日(月)	6月2日(火)	6月16日(金)
	参加者	284名	45名	142名	151名
	場所	県運動公園	新庄市山屋 セミナーハウス	赤湯公民館 えくぼプラザ	三川町公民館
	内容	○実技講座 「放課後の子どもの活動支援に生かせる実技体験研修」 石井勝氏 他 (ポポーの広場) 計5名	○実践紹介・体験 「地域と連携した放課後プログラムづくり」 中鉢祐子氏 他 (NPOはぐくみ保育園) 計5名	○講演 「地域の人材を活かした子どもがいそいそ学ぶ放課後プログラム作り」 平岩国康氏 (NPO法人放課後アフタースクール)	○講演 「保護者との関係づくり、保護者への支援」 阿南健太郎氏 (一般財団法人児童育成推進財団)

第2回	期 日	10月15日(木)	11月6日(金)	6月17日(水)	9月7日(月)
	参加者	291名	46名	55名	79名
	場 所	遊学館	新庄市民プラザ	置賜総合支庁 西庁舎	三川町公民館
	内 容	○講演 「保護者とのよりよい関係の築き方～特別支援の観点からのアプローチ～」 諸富祥彦氏 (明治大学文学部)	○講演 「気になる子どもの理解と支援」 花輪敏男氏 (FR教育臨床研究所)	○事例発表 「放課後子ども伊佐沢教室の取組み～長井花のまちスポーツクラブとの連携について～」 大津君彦氏 (放課後子ども伊佐沢教室実行委員会)	○講演 「気になる子の『理解』と『対応』」 佐竹真次氏 (県立保健医療大学)
第3回	期 日	12月8日(火)	—	7月1日(水)	11月25日(水)
	参加者	210名	—	43名	133名
	場 所	山形ビッグウイング	—	長井市伊佐沢地区 公民館・長井市立 伊佐沢小学校	三川町公民館・ 三川町社会福祉 センター
	内 容	○事例発表とパネルディスカッション 安藤耕己氏 他 (山形大学地域教育文化学部) 計4名	—	○講演 他 「放課後子ども教室のプログラムの多様性と総合型地域スポーツクラブとの連携」 松田道雄氏 (東北芸術工科大学) 計4名	○実技講座 「あそびはまなび！活動プログラムフェア」 結城ななせ氏 他 (やまがたこどもアトリエ) 計11名
第4回	期 日	—	—	2月9日(火)	—
	参加者			109名	
	場 所			伝国の杜 置賜文化ホール	
	内 容			○講義 「きれいな子、パニックになる子への理解と支援のあり方」 大河原美以氏 (東京学芸大学)	

#### ④市町村補助事業の実施

ア 運営委員会及びコーディネーターの設置

イ「放課後子ども教室」の実施＝ 33市町村 107箇所

ウ「放課後児童クラブ」の実施＝ 34市町村 284箇所

## (2) 学校支援地域本部事業

地域住民の積極的な学校支援ボランティア活動を通じて学校と地域の連携体制の構築を図り、学校の教育活動を充実させるとともに、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図るために、学校支援地域本部の設置を推進した。

### ①運営協議会の開催 (6/19、2/5の年2回の実施)

11名の委員を委嘱し、県内小中学校の学校支援ボランティアの活動状況を把握し、今後の事業の進め方等について協議した。

②地域コーディネーター研修会（学社融合フォーラム）の開催【再掲】

- 期日：9月11日（県生涯学習センター） 参加者：103名
- 講演：「子どもたちの豊かな学びのための教育環境づくり」
- 講師：千葉敬愛短期大学 学長 明石要一 氏
- 分科会： A 放課後や土曜日等の魅力的な学習プログラムについて  
B 地域の団体の他の事業と連携した学校支援活動について  
C 大学生や教員OBなどの地域住民による「学習支援」について

③市町村補助事業の実施

- ア 実行委員会の設置及び地域コーディネーターの配置
- イ「学校支援地域本部」の設置＝ 21市町村 68本部 100校

**（3）伝承芸能育成事業「子ども伝承活動ふるさと塾」**

子どもの郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存・伝承を通じて、子どもの社会力の育成を目指し、親から子、子から孫の代へ「ふるさと山形」のよき生活文化や知恵、伝統芸能などを教え合い、学び合いながら、伝承していく活動を推進するため、以下の施策を実施した。

①指導者研修会・出前講座の実施

- ・村山地区（出前講座6）
- ・最上地区（指導者研修会2 出前講座7）
- ・置賜地区（指導者研修会1 出前講座7）
- ・庄内地区（指導者研修会1 出前講座9）

②日本一さくらんぼ祭り「ふるさと芸能のつどい」

- ・6月20日（土）
- ・七日町～本町の路上の2か所にて13団体の舞台発表（子ども8団体、大人5団体）

③市町村総合交付金による市町村への活動支援

対象35市町村中34市町村で実施

④記録保存システム（ふるさと塾アーカイブス）の運用

ふるさと塾アーカイブス取材候補団体の取材・編集進行中（映像確認・団体紹介文の作成・承諾書の提出を随時依頼）

⑤ふるさと塾賛同団体数： 1月末現在で288団体

**（4）やまがた・ふくしま少年少女交流事業**

山形県少年自然の家において、山形県内の児童・生徒と福島県内の児童・生徒が交流し、隣県民の友情を育み、「人と人がつながる力」を育成する。

①交流会の実施 年4回の開催

島の体験

会場 山形県金峰少年自然の家（分館）と飛島

期 日 7月3日(金)～5日(日)2泊3日  
内 容 飛島散策、飛島に関する講義、ウミネコ餌付け、清掃ボランティア等  
参加者 49名(福島22名、山形16名、高校生9名、協力者2名)

#### 川の体験

会 場 山形県神室少年自然の家  
期 日 8月28日(金)～30日(日)2泊3日  
内 容 川遊び、焚き火体験、ナイトウォーク、流しそうめん等  
参加者 41名(福島13名、山形15名、高校生0名、協力者13名)

#### 里の体験

会 場 山形県朝日少年自然の家  
期 日 10月23日(土)～25日(日)2泊3日  
内 容 カヌー体験、ふるさとを考える交流会、プラネタリウム、ラフランス狩等  
参加者 44名(福島18名、山形14名、高校生9名、協力者3名)

#### 雪の体験

会 場 山形県飯豊少年自然の家  
期 日 1月9日(土)～11日(月)2泊3日  
内 容 館内フォトビンゴ、餅つき、けん玉絵付け、雪遊び、そば打ち等  
参加者 59名(福島35名(親:14名 子:21名)、山形9名、高校生9名、協力者6名)

## 2 青年期の教育の充実

### (1) 地域青少年ボランティア活動推進事業

「山形方式」と呼ばれる地域青少年ボランティア活動の推進のため、中央センターと四つの地区センターを設置して、情報の収集・提供や研修・交流機会の拡充を図った。

#### ①中央センター事業(県青年の家)

##### ア 山形県地域青少年ボランティア推進会議

県内の青少年ボランティア活動の推進方策を検討するとともに、各地区センターの事業計画の検討と評価を行った。

##### イ YYボランティアビューローの設置

県内の青少年ボランティア活動に関する各種情報を収集し、インターネット等を通じて広く発信するとともに、「出前講座」の実施(11回)により活動実践者やボランティアサークルへの支援を行った。

また、ボランティア活動に興味を持つ青少年に、ボランティア活動を体験できる機会を紹介するリーフレットを作成し「季節ごとの体験ボランティア」という名称で、県内一円でボランティア活動機会の提供を行った。

(ア) 期 間 夏:7月～9月、冬:12月～1月

(イ) 場 所 県内全域

(ウ) 内 容 ボランティアサークル・団体・施設等が企画するボランティア活動機会の提供

(エ) 対 象 県内全ての小中高生及び一般

(オ) 実 績 【夏季】100団体 130企画 参加者数1,372名

【冬季】56団体 73企画 参加者数集計中

## ウ YYボランティアの集い

県内各地域の青少年ボランティアサークルが一堂に会し、日常の実践活動の発表を通して学び合い交流を深めた。

(a) 期 日 12月12日(土)～13日(日)

(b) 場 所 県青年の家

(c) 参加者 48名(高校生47名、大学生1名)

(d) 内 容 [1日目] 活動発表、アイスブレイク、講話、調理実習  
[2日目] 実技講習

## ②地区センター事業(4教育事務所)

### ア 地区地域青少年ボランティア推進会議の設置

各地区の実践、活動、事業に関する情報を交換しながら、地区内の青少年ボランティア活動の推進に向けた諸施策について協議した。また、活動アドバイザーを委嘱し、地区内のサークルやボランティア実践者へ助言するなどの支援を行った。

### イ 中学生ボランティアリーダーセミナー

各地区の中学生を対象に、ボランティア活動を仲間呼びかけることができる人材の育成を図った。

地区	村 山	最 上	置 賜	庄 内
期日	7/29(水)～30(木)	8/11(火)～8/12(水)	8/6(木)～7(金)	8/7(金)～8(土)
参加者	81名	26名	20名	35名
場所	県青年の家	神室少年自然の家	飯豊少年自然の家	金峰少年自然の家
内容	アイスブレイキング、講義、企画演習、施設訪問実習	アイスブレイキング、講話、調理実習、防災ワークショップ、救急救命講座	アイスブレイキング、企画演習、実技講座、施設訪問実習	アイスブレイキング、講話、実技講座、企画演習、施設訪問実習

## ウ YYボランティアサークル交流会

サークル会員を対象に会員間の交流とスキルアップを図る

地区	村 山	最 上	置 賜	庄 内
期日	1/30(土)	2/6(土)	10/31(土)	8/8(土)
参加者	13名	73名	8名	3名
場所	天童中部公民館	新庄市民プラザ	南陽市梨郷公民館	金峰少年自然の家
内容	アイスブレイキング、調理実習、講座、交流会	アイスブレイキング、サークル活動内容共有、だがしや楽校	アイスブレイキング、青年による地域活動紹介、実技講座	サークル活動紹介、交流会

## (2) 青年交流事業

青年による地域活動を活発化するために、経験豊富な青年リーダー19名で青年会議を組織し、次世代リーダー育成のために地域貢献青年育成セミナーを企画運営した。

経験の浅い青年が通年で地域活動を実践体験できるよう、地区毎に「学びあい地域活性化推進プロジェクト」を実践した。

### ①青年会議 (於：青年の家)

○第1回会議 5月17日(日) 17名 事業計画と役割の確認

第2回会議 7月12日(日) 15名 地域貢献青年育成セミナーの内容検討

第3回会議 2月22日(日) 活動実績の共有と今後の展開

○地域貢献青年育成セミナー 11/7(土)～11/8(日) 1泊2日

参加者 46名(高校生14名,大学生9名,一般青年10名,青年会議委員13名)

内容 講話① 県人口ビジョンを基にやまがた創生総合戦略について紹介  
 現地視察 地域づくりを行っている団体を中心に  
 講話② 事業計画の際に留意する事項について  
 グループワーク 地域活動の企画を作成

○先進事例視察 12/6(日) 今宵サミットin燕(新潟県三条市)2名派遣

○地域活動団体の活動状況調査

## ②学びあい地域活性化推進プロジェクト

地区	村山(委員10名)	最上(委員11名)	置賜(委員11名)	庄内(委員11名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種イベントで参加者の写真を撮影。モザイクアートを作成した。各市町村で展示。</li> <li>会議・活動20回</li> <li>延参加人数1,116名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体を訪問し手形を押しもらい、最上8市町村の形を作成。新庄駅展示。</li> <li>会議・活動19回</li> <li>延参加人数1,149名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白鷹町山口の里山保全の会と連携。若者対象の林業体験イベントを開催</li> <li>会議・活動20回</li> <li>延参加人数287名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄内の魅力を再発見できるイベントを開催。トークセッション、伝統手芸体験等</li> <li>会議・活動16回</li> <li>延参加人数625名</li> </ul>

### (3) 青少年環境教育事業(飛島を舞台とした青少年の自立を促す環境教育事業)

フリースクール等に通う中学生や高校生を対象として、飛島を舞台に海岸漂着物等を題材にした体験型環境教育プログラムを開発・実施し、困難を抱える青少年の自立を促すとともに、プログラムの有効性についての検証を行った。

『とびしま 心と海岸 リフレッシュツアー』の開催

- ・期 日：7月27日(月)～28日(火) 1泊2日
- ・場 所：酒田市飛島 (宿泊場所：沢口旅館)
- ・内 容：1日目：アイスブレイク 飛島学講座 夜の磯ウォッチング 夜光虫観察  
 2日目：海岸クリーンナップ体験 環境問題学習会 島内散策  
 ガラス浮結び体験 釣り体験 等
- ・参加者：14名(中学生1名 高校生等9名 引率指導者4名)

## 3 成人期の教育の推進 4 高齢期の教育の推進

### (1) 成人期・高齢期教育担当者研修事業

#### (学びと協働による地域コミュニティ活性化事業・社会教育職員研修)

成人期・高齢期における豊かで活力ある地域社会を形成するためのよりよい生涯学習の機会と場を提供できるよう以下の研修会を実施した。

成人期・高齢期教育領域

No.	地区	実施日	開催地	講師	参加者
1	村山	7月27日(月)	寒河江市	伊藤 眞知子氏(東北公益文科大学教授)	36

2	最上	1月21日(木)	新庄市	齋藤 彰氏(県社会教育委員)	17
3	置賜	7月9日(木)	南陽市	佐藤 英仁氏(東北福祉大学専任講師)	63
4	庄内	6月11日(木)	三川町	伊藤 眞知子氏(東北公益文科大学教授)	31

### Ⅲ 「地域」とつながることで、子どもと大人の社会力を高め、地域の教育力の向上を図る

#### 1 地域との連携協力の推進

##### (1) 学校・家庭・地域の連携協働推進事業

学校・家庭・地域の連携協力を進める市町村の各取組みが有機的に連携するための機能を備えた「教育プラットフォーム」の構築を支援することで、地域住民が積極的に子どもの教育や子育て支援にかかわる環境づくりを推進した。

##### ① 県推進本部の設置(設置準備会 5/15、本部会議 3/9)

県全体の推進体制を計画・検証する有識者等による会議を行うとともに、学校支援・放課後支援・家庭教育支援の各推進協議会との連絡・調整を図った。

##### ② 「教育プラットフォーム」の構築に関する調査研究

市町村の実態を調査すると共に、教育事務所のサポートのもと、県内4地区においてモデル事業の実施により「教育プラットフォーム」の構築支援を行った。

##### (2) 学校支援地域本部事業(再掲)

##### (3) 放課後子どもプラン推進事業(再掲)

##### (3) P T A 指導者研修事業(社会教育研修事業)

県内のP T A活動に携わるリーダーが一堂に会し、P T Aの運営や活動に関する先進事例の発表をもとに研修を深め、これからのP T A活動の活性化と、家庭・学校・地域を結ぶP T Aのリーダーとしての資質の向上を図った。

##### ① 県P T A指導者研修会

○期 日：平成27年7月4日(土) 参加者約180名

○場 所：県生涯学習センター「遊学館」(山形市)

○内 容：全体会(県優良P T A表彰、講演)及び各校種別の研修会

##### ② 優良P T A表彰事業

○優良P T A県教育委員会表彰選考委員会(5月25日)

県教育委員会表彰団体として、小学校4校、中学校4校、高等学校2校の計10団体を選出し、県P T A指導者研修会で表彰した。

・村山市立戸沢小学校 P T A

・山形市立金井小学校 P T A

・山形市立金井中学校 P T A

・新庄市立升形小学校 P T A

・戸沢村立戸沢中学校 P T A

・米沢市立第四中学校教育振興会

- ・川西町立小松小学校 PTA
- ・山形県立鶴岡南高等学校 PTA
- ・鶴岡市立鶴岡第一中学校 PTA
- ・山形県立新庄神室産業高等学校 PTA

### ③ P T A 研修資料作成

P T A 活動の活性化を図るための資料とするために、県内の優良 P T A 団体の実践を紹介した「これからの P T A No.45」を作成し、各単位 P T A、市町村教育委員会等に配付した。

## (4) 視聴覚教材普及事業

視聴覚教材の自作化を奨励し、視聴覚教育活動の振興を図るため、公益財団法人山形県生涯学習文化財団と共催で自作視聴覚教材コンクールを実施した。

### ① 県自作視聴覚教材コンクール審査会

審査会に出品された作品を学校教育部門、児童生徒作品部門、社会教育部門の3部門で審査を行った。

○期日：平成28年1月22日

○会場：県生涯学習センター「遊学館」（山形市）

○審査会に出品数：計36本

- ・学校教育部門11本（DVDビデオ5本、紙芝居5本、パソコン作品1本）

- ・児童生徒作品部門8本（DVDビデオ6本、紙芝居2本）

- ・社会教育部門17本（DVDビデオ4本、OHP1本、紙芝居12本）

○入賞数：最優秀賞8（DVDビデオ4本、紙芝居4本）優秀賞14

○表彰式・発表会 2月11日（祝）

発表会では最優秀作品の発表と優秀・入選作品の展示を行った。

## (5) 社会教育関係団体の支援

社会教育関係団体事業費補助金

社会教育関係団体の健全な運営と活動の活性化を図るため、次の団体が実施する事業について助成した。

○山形県婦人連盟（婦人団体事業費補助金：84千円）

○山形県 P T A 連合会（P T A 連合会事業費補助金：46千円）

○山形県高等学校 P T A 連合会（P T A 連合会事業費補助金：27千円）

○山形県特別支援学校 P T A 連合会（P T A 連合会事業費補助金：37千円）

○ボーイスカウト山形県連盟（ボーイスカウト事業費補助金：42千円）

○山形県社会教育連絡協議会（山形県社会教育連絡協議会事業費補助金：110千円）

## 2 社会教育施設の環境整備

### (1) 県立図書館の整備・充実

I C タグ・ゲートを導入することで、従来制限していた手荷物の持ち込みを可能と

し、利用者の利便性向上を図った。また、飲み物を飲める場所を従来の1ヶ所から4ヶ所に増やし、寛ぎの空間の拡大に努めた。

## (2) 県立博物館の整備・充実

プライム企画展「『縄文の女神』と『遮光器土偶』—縄文の美と宝」など常設展示に加え各種企画展を開催し、展時内容の充実に努めた。

自然史部門の一部展示替えや教育資料館について、「やまがた教育の日」を新たに特別開館（入館料無料）とするなど、文化学術拠点としての博物館機能の強化を図り、魅力ある博物館活動の充実に努めた。

## (3) 青少年教育施設の整備・充実

大規模災害時の避難所としての機能向上を図るため、26年度に設置した金峰・飯豊・神室少年自然の家につき、グリーンニューディール基金により海浜自然の家にて太陽光発電設備を設置した。また、海浜自然の家におけるドクガ対策の防除・除草や飯豊少年自然の家での松くい虫対策伐倒駆除、ナラ枯れ対策防除を行い、野外活動の際の利用者の安全確保を図る一方、神室少年自然の家では川遊び体験活動用具を更新し、利用者が安全で快適に利用できるように施設の整備・充実に努めた。

## 3 社会教育推進体制の充実

### (1) 県社会教育委員の会議（15名）

あわせて3回の会議を行い、社会教育の推進と生涯学習の振興のあり方や施策について意見をいただく機会を得た。特に、平成28年度事業の策定に向け、「青年期の教育」について、貴重な御意見を頂戴し、事業策定に反映することができた。

なお、第176回社会教育委員の会議は、生涯学習検討委員会と兼ねて行った。

- 第174回社会教育委員の会議 5月29日（金）県庁講堂委員（13名参加）
- 第175回社会教育委員の会議 9月9日（水）村山総合支庁講堂委員（12名参加）
- 第176回社会教育委員の会議 2月17日（水）山形県生涯学習センター

「遊学館」特別会議室

### (2) 社会教育主事養成事業

#### ①社会教育主事講習（前年度15名 教職員14名 市町村職員1名）

- 東北大学社会教育主事講習：受講者15名（内県費派遣9名 町職員6名）

- ・県内研修：6/15(月)～6/16(火) 於：県青年の家
- ・磐梯青少年交流の家研修：6/29(月)～7/4(土)
- ・東北大学研修：7/21(火)～8/7(金)

- 国立教育政策研究所

- ・社会教育主事講習Aについて 受講者なし

- ・社会教育主事講習Bについて 2名（県費）（※市町村職員1名 鶴岡市）

※ 中教審答申（H27.12.21）では、「地域連携担当教職員」として社会教育主事有資格教員を各学校へ配置する必要性を明記。

②社会教育主事有資格教員研修

No.	地区	実施日	会場	講師	参加者
1	村山	8月7日（金）	村総西庁舎	佐藤 慎也氏 （山形大学地域教育文化学部教授）	23
2	最上	7月31日（金）	大地会館	佐藤 淳一氏 （仙台市教育委員会学びの連携協働推進室）	26
3	置賜	8月28日（金）	伝国の杜	花田 美穂氏 （米沢市上杉博物館学芸主査）	26
4	庄内	9月25日（金）	東北公益大 大学院ホール	長南 博昭氏 （山形県教育委員会委員長）	62

- ・各教育事務所の計画で実施（計137名参加）

**（3）学びと協働による地域コミュニティ活性化事業**

**（社会教育関係職員講座・市町村研修等支援事業）**

市町村の社会教育関係職員等を対象として、指導力の向上を図るための研修を実施した。

①社会教育関係職員初任者講座（山形県生涯学習文化財団と共催）

- ア 初任者講座1 5月28日 遊学館 73名参加
- イ 初任者講座2 11月17日 遊学館 49名参加

②社会教育関係職員領域別講座（家庭教育、青少年期、成人期・高齢期）

**【家庭教育領域】**

No.	実施日	会場	講師	参加者
1	4月22日（水）	遊学館	佐藤 節子氏 （山形大学教育実践研究科客員教授）	60

**【青少年教育領域】**

No.	地区	実施日	開催地	講師	参加者
1	村山	2月17日（水）	寒河江市	江本 一男氏 （えき・まちネットこまつ町づくり理事長）	
2	最上	5月18日（月）	新庄市	堀米 幹夫氏 （元山形電波工業高等学校長）	17
3	置賜	2月9日（火）	米沢市	大河原 美以氏 （東京学芸大学教授）	109
4	庄内	2月25日（木）	三川町	齋藤 彰氏（県社会教育委員）	

**【成人期・高齢期領域】**（再掲）

③社会教育関係職員スキル別講座（ファシリテート技術、広報資料作成技術）

**【ファシリテート技術】**

No.	地区	実施日	会場	講師	参加者
-----	----	-----	----	----	-----

1	最上	8月19日(水)	最上総合支庁	醍醐 孝典氏 (東北芸術工科大学准教授)	13
2	置賜	8月21日(金)	赤湯公民館	出野 紀子氏 (東北芸術工科大学講師)	25

#### 【広報資料作成技術】

No.	地区	実施日	会場	講師	参加者
1	最上	11月13日(金)	最上総合支庁	赤沼 明男氏 (東北芸術工科大学准教授)	19
2	置賜	11月27日(金)	置賜総合支庁 西庁舎	赤沼 明男氏 (東北芸術工科大学准教授)	21

④出前講座(市町村研修等支援事業：県社会教育連絡協議会との共催)

ア アドバイザー派遣：29市町村で実施(前年度18市町)

## IV 県民の主体的な学習活動の機会や環境の充実を図る

### 1 生涯学習推進体制

#### (1) 生涯学習施設の整備・充実(生涯学習センター事業)

生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センター(「遊学館」及びセンター分館山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」)の効果的かつ効率的な管理運営と、機能維持及び安全確保のため、設備等の更新及び修繕を行った。

##### ①県生涯学習センターの管理運営

山形県生涯学習センターについて、指定管理者(公益財団法人山形県生涯学習文化財団)による施設の適切かつ効率的な維持管理運営により、利用者へのサービス向上を図った。

##### ②県生涯学習センターの施設整備

生涯学習センターの機能維持と安全確保のため、設備の修繕を行った。

##### ③学習情報の収集提供

県民の主体的な学習活動を支援するため、様々な方法により広域的かつ総合的な学習情報を提供した。

##### ア 学習情報収集・提供事業

再構築した山形県生涯学習情報提供システム、ホームページにより、県民ニーズに合わせた新鮮で確実な各種情報を提供するとともに、学習相談を実施した。

アクセス件数46,168件、学習相談21件(いずれも平成28年1月末時点)

##### イ 長寿社会情報ネットワーク推進事業

明るい長寿社会づくり連絡協議会関連事業を推進し、高齢者の生きがい健康づくりや社会参画に関する情報の提供を行った。

##### ウ 「ふるさと塾」推進事業

「ふるさと塾」に関する映像等を記録、インターネットを通じて公開し、ふるさと塾活動の支援基盤の構築を図った。(平成28年1月末時点公開数：227件)

#### ④生涯学習活動支援者の育成

地域における主体的な学習活動を推進するため、各種人材育成事業を実施した。

##### ア 生涯学習関係職員研修事業（5月・11月・12月）

市町村生涯学習・社会教育関係職員の資質向上のため、研修を行った。

##### イ 高齢者生きがいくくり・生活支援活動人材育成事業（6月～11月、3月）

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、高齢者の生きがいくくり・生活支援活動に参加する担い手の育成を行った。（入門講座：県内4ヶ所、実践講座：県内2ヶ所【5回シリーズ】、フォローアップ研修：県内1ヶ所）

##### ウ シニア地域実践活動支援事業

県内9地区の「山形シルバー観光ガイド」の養成及び活動支援を行った。

#### ⑤県民主体の学習機会の提供

県民の幅広い学習ニーズに応えるため、山形学講座等の学習機会を提供した。

##### ア 「山形学」推進事業（6月～11月）

山形の特徴や特性を多面的に捉え、山形に生きることの意義や地域づくりを考えるため、山形学フォーラム、山形学講座（6回）を開催し、学習成果をまとめた「遊学館ブックス」を発刊した。

また、県内外で地域学を実践している民間団体、高等教育機関、行政機関などが集い、地域等に関する情報を交換するための地域学交流集会を開催した。

##### イ 生涯学習活動普及促進事業

生涯学習センター事業の内容や成果の報告、県内の活動事例の紹介などを通して、県民の生涯学習への理解が深まるよう広報紙を発行した。（7月・11月・2月、各4,000部）

##### ウ 「山形学」地域連携講座支援事業（助成：12団体）

山形学の振興を図るとともに、地域に根ざした生涯学習を推進するため、市町村や高等教育機関等が実施する地域学に関する体系的な講座に対して支援を行った。

##### エ 生涯学習活動支援事業（助成：18団体）

高校の文化学習活動、市町村における生涯学習活動など、主体的に生涯学習に取り組む団体の活動を支援した。

##### オ 生涯学習活動実践団体との連携事業

自主的で創造的な生涯学習活動を実践している団体等と連携し、作家トークショーを行った。

#### ⑥その他生涯学習推進に関する業務

##### ア 「生涯学習事業の推進に関する懇話会」の開催

生涯学習センターの事業運営等について、県民各層から広く意見を聞き、これを生涯学習関連事業等の推進に反映させるため「懇話会」を設置し、意見交換を行った。（10月、3月）

## (2) 生涯学習推進委員会

○第1回委員会 5月28日(木) 県庁

山形県の生涯学習の推進を図るため、平成25年3月に、「第4次山形県生涯学習振興計画」を策定し、生涯学習に関する施策の総合的な企画及び調整、その推進を図るため、関係所属により構成する生涯学習推進委員会を設置している。

進行管理を通じて関係部局等が連携し、総合的に施策が展開されるよう努めた。

## V その他

### 1 諸会議

#### (1) 教育事務所等連絡会議

- ①教育事務所社会教育課長会議 (年間3回開催) ①4/8~9 ②9/18 ③2/3  
②教育事務所社会教育主事会議 (年間4回開催) ①4/13 ②5/1 ③9/4 ④2/10

#### (2) 社会教育施設連絡会議

- ①県社会教育施設長会議 (年間3回開催) ①4/8~9 ②10/14 ③2/9  
②青少年教育施設研修担当者会議 (年間3回開催) ①4/13 ②10/20 ③2/16

### 2 平成27年度文部科学大臣表彰

#### (1) 優良公民館

村山市戸沢地域市民センター (村山市) 【優秀館】  
庄内町余目第二公民館 (庄内町)

#### (2) 優良PTA表彰

村山市立戸沢小学校PTA (村山市)  
米沢市立第四中学校教育振興会 (米沢市)  
山形県立新庄神室産業高等学校PTA (新庄市)

#### (3) 社会教育功労者表彰

該当者なし

#### (4) 視聴覚教育功労者表彰

渡部 俊一 (南陽市)

#### (5) 子ども読書活動優秀実践図書館・団体

上山市立図書館 (上山市)  
ボランティアグループ トライあぐる (小国町)

#### (6) 優れた「地域による学校支援活動」表彰

「そでさき元気っ子」袖崎小学校放課後子ども教室 (村山市)  
「戸沢小学校放課後子ども教室」 (戸沢村)  
「玉庭地区学校支援地域本部」 (川西町)